

《議題1》

東地区の実情に合った乗合交通
の検討について

①検討の目的

○巡回バスの見直し⇒東西間のバス運行

1台のバスで東西間を運行と他の交通との接続



既存の民間公共交通を最大限活用し、接続による交通ネットワークをつくることで、町内の移動を実現する

○西地区内の状況





路線バスとの
接続は困難

タクシー利用
は高額に

千里中央

○東地区内の状況

西地区へ

池田

高山

○東地区巡回バス利用状況

利用者数の状況(平成22年度予測)

便数	平均利用者数 (人)	
	1便あたり	1日あたり
5	2.5	13

- ・老人福祉センター永寿荘送迎バスを路線化
⇒永寿荘利用者
- ・高山小学校の閉校
⇒高山地区の児童

代替手段

- ・西地区の老人福祉センター送迎と統合する
 - ・路線バスの活用や職員送迎
- ↓
- 代替手段により、東地区巡回バスが担っていた需要は減少する

需要が少なく、在来公共交通の活用が困難な地域において、東西間のバスを利用することができる公共交通の検討が必要

②東地区デマンドタクシーの提案

○デマンドタクシーとは

デマンドタクシーは、予約のあった停留所のみを走行する、乗合いタクシーです。利用者の少ない地域の新たな交通手段として注目されています。

予約があったときだけ運行

- ・あらかじめ利用者登録
- ・出発の1時間前までに電話で予約

予約のあった場所を運行

- ・予約のあった停留所を結ぶ運行
- ・乗車・降車時刻は予約状況によって変化

○デマンドタクシーのメリット

予約があったときだけ走行



需要が少なければ運行費用が少ない

タクシー会社の
予約システムを活用



新規投資が不要
サービスのノウハウをそのまま活用

- ・需要の少ない東地区で、東西間のバスへの接続という運行目的を効率的に達成できる
- ・社会実験を行うにあたり、初期投資を低く抑えることができる

③東地区デマンドタクシー社会実験計画案

(1) 事業概要案

事業 方針

- 東地区において、東西間のバスを利用できるように、バスと接続する乗合交通のあり方を検証
- 東西間のバス運行にあわせて社会実験を行う

主体

- 【実施】 豊能町
- 【運行】 タクシー会社等に委託

期間

- 東西間のバス運行の社会実験と同期間とする
- 社会実験の検証及びさらなる見直しにより、その後の運行を検討

(2) 東地区デマンドタクシー運行計画案

運行方針

- 事前に登録した者より予約があったときにのみ運行し、予約のあった停留所と余野の間を最短で結ぶ
- 全便東西間のバスに接続する

運行の区域

- 東地区のうち、東西間のバスを利用できない地域
- 【川尻・高山地区】及び【余野～牧、寺田、切畑、木代(福田)】

車両

- セダン型タクシー車両で運行
- 最大2台による運行とし、予約人数が乗車人数を超えた場合は増車する

ダイヤ

- 平日 8時台～18時台 2系統 各3往復 6便
- 休日 8時台～18時台 2系統 各2往復 4便
- 東西間のバスの余野出発又は到着時刻にあわせて運行



牧・寺田

京都府

切畑

余野～野間口

デマンド牧・寺田・切畑線

余野
(中央公民館前)

川尻

豊能町

福田

デマンド川尻・高山線

西地区

東地区デマンドタクシー
運行路線案

高山

(3) 東地区デマンドタクシー利用料金案

わかりやすく、利用しやすい料金



均一料金

他のバス路線とのバランス



区域内のバス料金150円～230円
東西間のバス料金150円～200円



利用料金は200円に(小人半額)設定

(4) 運送事業者の選定

条件

- ・安全確保方策、利用者利便の確保方策がとられている
- ・地域内の地理、地勢、交通状況などを把握している
- ・運行を確保できる十分な運行車両及び予備車両を保有している
- ・予約のシステムが整っている
- ・予約センターと車両との連絡体制が整っている